

## ■ 協働実践研究フレフォーラム（全5回）参加者募集！ ■

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、本学の特任研究員を中心に研究班を構成し、協働実践研究活動を進めています。**12月1日（土）-2日（日）の全国フォーラム**に向けて、下記のとおり各テーマにそった「**協働実践研究フレフォーラム**」を開催します。みなさま奮ってご参加ください！  
お申込はメールで、氏名・所属を明記のうえ、参加を希望されるフォーラム別にそれぞれのアドレスへ！

テーマ&登壇者	開催日&場所&申込
<p><b>「楽・ふれあい・トーク」</b> <b>～目の前の外国につながる子どもたちに、わたしたちができることを～</b></p> <p>本フォーラムでは、ワークショップ形式で、参加者それぞれが率直に意見を交換しながら、外国につながる子どもたちの教育をどのように支援していくのか、そのためにどのような連携、協働が必要なのかを具体的に考えていきます。</p> <p>川崎市川崎区をフィールドに、外国につながる子どもたちの教育に関わる、地域の団体、学校関係者、行政、当事者らを中心に議論を進めます。</p>	<p><b>10月12日（金）</b> 14:00-16:00</p> <p>【会場】神奈川県川崎市ふれあい館 【定員】50名 【申込】 10/5（金）までに k-forum@tufs.ac.jp</p>
<p><b>多言語・多文化社会の広がり</b>とコーディネーター －福祉、学校教育、日本語支援、国際交流協力の現場から－</p> <p><b>第1部：事例報告「日本におけるコーディネーターの実際」</b> 報告者： 疋田恵子（日本ボランティアコーディネーター協会運営委員） 宮村育代（杉並区教育委員会指定学校教育コーディネーター） 宮崎妙子（武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター） 丹下厚史（名古屋国際センター交流協力課主査） 進行：山西優二（早稲田大学文学学術院教授、本学特任研究員）</p> <p><b>第2部：ディスカッション「多文化社会に求められる人材像とコーディネーターの専門性」</b> パネリスト：上記報告者4名 発題者：杉澤経子（本センタープログラムコーディネーター） 小山紳一郎（かながわ国際交流財団情報サービス課長、本学特任研究員） 進行： 山西優二（早稲田大学文学学術院教授、本学特任研究員）</p> <p>【後援：（財）自治体国際化協会、（特活）日本ボランティアコーディネーター協会】</p>	<p><b>10月26日（金）</b> 14:30-17:30</p> <p>【会場】早稲田大学国際会議場 【定員】100名</p> <p>【申込】 10/20までに c-forum@tufs.ac.jp</p>
<p><b>外国人住民を取り巻く課題と地域づくり</b> －長野県上田市における行政・企業・市民連携の取り組み事例を中心に－</p> <p><b>第1部 日系ブラジル人の仕事・暮らし・教育（鼎談）</b> 上田市に暮らす日系ブラジル人 浦野エジソン（一橋大学大学院社会学研究科フェアレイバー研究教育センターシニア・リサーチフェロー、本センターフェロー） 田村太郎（多文化共生センター大阪代表理事、本センターフェロー）</p> <p><b>第2部 日系ブラジル人を取り巻く課題と取り組み（パネルトーク）</b> 外国籍市民支援会議の取り組み（上田市市民生活部市民課長 小山 晃） プレススクール（教育委員会学校教育課長 小野塚 究） 日系ブラジル人の子どもたち（上田市東小学校長 増田善雄）予定 日系ブラジル人が働く地元製造業の実情（地元企業） 地域の日本語教室の取り組み（親と子の日本語教室代表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コメンテーター 阿部裕（精神科医、本学特任研究員） 佐藤郡衛（東京学芸大学国際教育センター教授、本学特任研究員）予定</li> <li>・ 進行 井上洋（日本経団連産業第一本部長、本学特任研究員）</li> </ul> <p>【共催：長野県上田市】</p>	<p><b>11月2日（金）</b> 13:30-16:30</p> <p>【会場】 文京シビックホール 26階スカイホール 【定員】100名</p> <p>【申込】 10/25までに u-forum@tufs.ac.jp</p>

**地方自治体の外国人施策における市民協働の可能性を探る  
— 町田・相模原における広域連携の模索 —**

基調報告: 渡戸一郎(明星大学教授/本学特任研究員)

第1部: 「町田・相模原における外国人相談の現状と課題—先行事例との比較」

パネリスト:

奴田原敏泰 (町田国際交流センター 外国人相談部会長)

未定 (さがみはら国際交流ラウンジ)

関聡介(弁護士、成蹊大学法科大学院客員教授、本学特任研究員)

進行: 塩原良和(東京外国語大学准教授/本センター運営委員)

第2部: 「町田・相模原における外国人住民施策と広域連携の可能性」

パネリスト:

笠原道弘 (町田市文化・国際交流財団事務局長(町田市派遣職員))

未定 (相模原市役所文化国際課)

片英治 (神奈川県立新磯高等学校長)

進行: 渡戸一郎(明星大学教授、本学特任研究員)

【後援: (財)町田市文化・国際交流財団】

**11月7日(水)**

18:00-20:30

【会場】町田市民フォーラム4F ボランティアセンター講習室

【定員】50名

【申込】

10/31 までに

m-forum@tufs.ac.jp

**共生のまちづくりに向けたプログラムづくり  
— 「のしろ日本語教室」の実践から —**

事例発表者: 北川裕子(のしろ日本語学習会教室主宰者)

池田理恵(旧名: 岩=イエン) (元のしろ日本語学習会学習者)

藤田美佳 (のしろ日本語学習会、本センターフェロー)

コメンテーター: 高木光太郎 (東京学芸大学国際教育センター准教授)

石井恵理子 (東京女子大学現代文化学部准教授)

コーディネーター:

野山広 (国立国語研究所日本語教育基盤情報センター整備普及グループ長、

本学特任研究員)

総合司会・ディスカッション

伊東祐郎 (本センター副センター長、本学留学生日本語教育センター教授)

【後援: (社)日本語教育学会】

**11月17日(土)**

13:30-17:30

【会場】東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール

【定員】100名

【申込】

11/11 までに

n-forum@tufs.ac.jp

**多文化協働実践研究・全国フォーラム (第1回)**

**予告 12月1日(土)・2日(日)【会場: 東京外国語大学】**

12月1日(土)

10:00 全体会 学長挨拶、班別・研究テーマと活動状況報告「多言語・多文化社会における諸課題と協働実践研究のアプローチ」

12:00 昼食(学食)

13:00 分科会 A

(1) 「日系ブラジル人の適応・定住化と人材育成への展望—上田市の調査から見てきたもの」阿部井上班

(2) 「外国につながる子どもたちの教育を地域から育む試み」佐藤金班

15:15 分科会 B

(3) 「自治体および国際交流協会職員に求められるコーディネーターとしての専門性—現場の実践から」山西小山班

(4) 「地域の特性を生かしたプログラムづくりとは?—各地の日本語教室の実践から—」野山班

17:45 懇親会(大学会館1F)

\* 詳細は、ホームページをご覧ください。

12月2日(日)

10:00 分科会 C

(5) 「自治体の外国人政策と区域を越えた行政・市民連携の可能性」渡戸関班

(6) 「なぜ教材作成プロジェクトを行うのか?」在日外国人児童むけ教材開発チーム

12:00 昼食(学食)

13:00 ○個人発表○グループ発表

15:00 全体会 パネルディスカッション

「多言語・多文化社会にむけて—協働・実践・研究が生み出すダイナミズム」

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター  
TEL:042-330-5441

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>